

我々は地球人

学校名	静岡県磐田市立東部小学校		授業者氏名	荻 光平
対象学年 (人数)	小学校6年生(33名)		実践年月 (時数)	2023年11月 (4時間)
担当教科等	全科			
単元名 (活動名)	世界の国々のことをもっと知ろう			
実践する教科・領域	総合学習			
学習領域	A 多文化社会 … 文化理解 () / 文化交流 () / 多文化共生 (○) B グローバル社会 … 相互依存 () / 情報化 () C 地球的課題 … 人権 () / 環境 () / 平和 () / 開発 () D 未来への選択 … 歴史認識 () / 市民意識 () / 社会参加 ()			
単元目標	・日本とネパールの国の違いを比べたり、調べたりする活動を通して、様々な文化や考え方をもった人々がいることに気づき、国籍に関わらずだれもが心地よく過ごせる地域社会を作っていくにはどうすればよいか考えることができる。			
単元の 評価規準	知識および技能	・ネパールと日本の違いを比べることを通して、日本とその他の国々に、様々な文化や考え方の相違点があることに気付くことができる。		
	思考力、判断力、表現力等	・様々な文化や考え方の相違点を多角的な視点から分析し、自分なりの考えをもつことできる。		
	学びに向かう力、人間性等	・グローバル化する地域社会の中で、様々な国をルーツにもつ人々とのように関わり、よりよい地域コミュニティを作っていきたいという思いをもつことができる。		
単元設定の理由・意義 (児童生徒観、指導観、教材観から)	・5年生の学習では、自分が関心をもった国々について調べ学習をしている。調べ学習を通してその国の概要についての知識をもっているが、その国と日本との関わり、自分がどのように関わっていくのかという具体的なイメージをもつことはできなかった。今回のネパール教材を活かして、外国との心理的な距離感を解消すること。また身近な外国をルーツとする人や物と前向きに関わろうとする姿を目指し単元を設定した。 ・ネパールと日本を比較すると、文化や気候風土、街並み、学校の様子など、児童はたくさんの違いを発見できる。違いに対する気づきを交流してくことを通して、この世界には多様な考え方や生き方をしている人々がいることをイメージし、それらを受け容れながら生きていこうとする態度を養いたい。			

[単元計画(全4時間)]

時	ねらい	学習活動	資料など
1	日本とネパールを比べる活動を通して、異文化について考えること、関わることの楽しさに気づくことができる。	○ネパールについて知ろう。 ・ネパールクイズ【4つのコーナー】 ・ネパール(途上国)に対するイメージを書き出す。【ブレインストーミング】 ・グループごとに写真について話し合い、考えたことを発表する。【フォトランゲージ】 ・写真についての説明を聞く。	写真(風景や食べ物)実物
2	世界には様々な国があり、多様な価値観や文化をもっていることを知り、多様性があることの良さを考えることができる。	○日本とネパールの同じところ・違うところを見つけよう。 ・写真やエピソードなど参考に日本とネパールの対比表を作る。【対比表】 ・それぞれのいいところを探す。 ・もしも、世界の人々が金太郎あめのようなだったら【派生図】	写真(街並み・学校・市場など) アンケート結果
3	根拠をもってあってもよい違い、いけない違いを仕分ける活動を通して、違いを受け容れ尊重しあっていくことの大切さに気付くことができる。	○あってもよい違い・ダメな違い ・子どもたちの考えをもとにしたちがいカードを並べる。【マトリックス】 ・あってもよい違い・いけない違いについての考えを共有する。【ワールドカフェ】	写真・ビデオ エピソード カード
4 本時	これまでの学習を生かして、自分たちの地域にいる外国にルーツをもつ人々に目を向け、その人たちとともに、心地よく生きられる社会に必要なものを考えることができる。	○だれもが心地よく生きられる社会に必要なものは何(物、心、考え方)? ・磐田市(東部小)がもし100人の村だったら【クイズ】 ・日本に来る外国人の思いを知る。 ・「多文化共生」の定義を知る。 ・行動宣言を考える。【ブレインストーミング】 ・自分ができることは何だろう?【ギャラリー】	資料 ビデオ(日本語学校)

〔本時の展開（4時間目）〕

ねらい	自分たちの地域にいる外国にルーツをもつ人々に目を向け、考え方や文化の違いを受け容れながら、その人たちとともに、心地よく生きられる社会に必要なものを考え行動宣言を作ることができる。		
過程・時	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点(支援)	資料
	○もしも磐田市が100人の村だったら ・この数や人口統計からどんなことが分かりますか。 日本人が減っていて、外国人が増えている。 去年と比べても増えていることから、これからも増えていくかもしれない。 ○外国人が日本に来る理由を知る。 ・日本語学校でのエピソードをききましょう。 日本は外国と比べて安全で安心して暮らせる国だ。 仕事をするために日本に来ているのだな。 貧しい家族を養うために働きに来ているのだな。 ○多文化共生って何だろう？多文化共生アンケートをもとに現状の問題点を考える。 ・アンケート結果からどんなことがわかりますか。 外国人は日本人に対して親しみをもってくれている。 逆に日本人は外国人に対する親しみが低い。 一緒に暮らしていくには、互いのことをよく知りたいな。 ○自分たちにできること、どんな考え方や思いをもって暮らしていく必要があるか考える。 ・自分たちにできること、どんな考え方や思いをもって暮らしていく必要があるか考える。 まずは挨拶をしっかりしたいな 外国の食事や日本の食事を一緒に食べてみる 外国の文化について知る。 お互いのいいところをみつけられるようにしたい。 ○自分の行動宣言を考える ・自分にできそうなことを決めよう。	・磐田市の人口に占める外国人人口や全校児童数に占める外国籍児童数の割合を提示する。 ・日本語学校生徒の思いや考えを紹介する。 ・ネパールの平均的収入や物価について話をする。 ・外国人からの思いに応えられていない地域の現状を確認する。 ・具体的な行動に限らず、思いや精神に関しても認める。 ・みんなの意見を参考に自分に実現可能なものを選ぶよう声を掛ける。	統計資料 エピソード アンケート結果
評価規準に基づく本時の評価	自分たちの地域にいる外国にルーツをもつ人々に目を向け、考え方や文化の違いを受け容れながら、その人たちとともに、心地よく生きられる社会に必要なものを考え行動宣言を作ることができる。		

〔総括・まとめ〕

学習方法および外部との連携	・学校の外国人支援員さんにゲストティーチャーを依頼した。身近な国際協力をしている人という位置づけで、児童に紹介し、お話をしてもらった。外国籍児童を勉強面や生活面でサポートをしている方の思いや考えを聞くことで、国籍に関わらず同じように生活し、勉強できる環境を作ることの必要性に気づけた。
学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	・他の教員への報告会を開催した。 ・授業実践を校内に周知した。 ・PTA バザーでネパールブースを作ってもらい授業実践やネパールボックスの紹介をした。
苦勞した点	・児童にとって外国をより身近に感じてもらうために、資料を精選すること。 ・児童から途上国に対するマイナスイメージを払拭し、その国への理解や支援を促すこと。 ・外国のことを自分の身近な環境に置き換えて、自分たちの課題であると捉えてもらえるようにすること。
改善点	・現地の雰囲気を分かりやすく伝えるために、学校の様子をビデオで提示する。 ・ネパールや途上国に対して前向きに捉えられる内容を、前半部分でしっかりと紹介する。
成果が出た点	・世界には様々な国があり、違う国の人と仲良くするには、互いの文化の違いを受け入れることが大切であると気づくことができた。 ・外国についてじっくりと考える経験がない児童がほとんどであったが、日本と外国、外国人との関りについて考え行動するきっかけになった。
学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	・最初は、ネパールは日本と文化が違ってあんまり行きたくないと思ったけれど、金太郎飴をやって、どこの国も一緒に考えをしていたら、とてもつまらないことに気がついた。外国のいいところに気づけてよかったと思う。 ・違いの違いをして、どんな違いならいいのかどんな違いはだめなのかがわかった。別にいい違いは認めあっていきたいと思った。行動宣言をして、外国人の人は、日本の人と仲良くしていると思っているのに、日本の人は、あまり親しくないと思っていてびっくりした。お互いが親しくなるために考えたことをやっていきたいと思った。
授業者による自由記述	・参加型の手法を楽しむ姿が印象的だった。参加型の手法を取り入れることで、与えられた情報をただ鵜呑みにするのではなく、自分たちで主体的に学びに取り組んでいた。 ・授業後に様々な質問をしてきたり、自主勉強で調べてみたりする児童もいた。 ・ネパール(外国)と日本、クラスにいる外国籍児童、地域にいる外国籍の方々との関りについて前向きに捉え、考えていく必要性を考えることができた。
単元構想・実施における参考資料等	静岡県公式ホームページ「多文化共生基礎調査」 https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/1049844/tabunkachiiki/1002475/1015556.html 第4次磐田市多文化共生推進プラン

[学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)]

	日本	ネパール
食事	米(白、ちり、れに近い) はし 色々味 みそしる	米(バサバサ、細長い) 手 辛いものが多い ダール
言語	日本語	ネパール語
治安	治安が良い	治安が悪い
家	土地を買って自分の土地	住み続けると自分の土地になる
お金	日本円	ルピー
物価	物価が高い	物価が安い
服装	和洋服	サリー
首都	東京	カトマンズ
動物	牛→肉付きが良い	牛→やせている、ガリガリ
天皇	います	いない
宗教	キリスト教 仏教 など...	インドウ教
祭	みこし	お面

▲対比表

